

福島駅東口再開発 コンセプト案

福島駅東口地区市街地再開発組合・福島市

コンセプトにかける“想い”

駅前再開発はいま、社会変動の大きな波に直面しています。

全国的に商圈が郊外へ、さらにはEC（イーコマース）へと移行傾向にあるなか、

ここ福島駅前も、市民の“わくわく”の集積地だった中合百貨店は閉店し、
市民の利用頻度は次第に減少しました。

にぎわい、文化、人々のつながり。これらのあり方に大きな変化をもたらしたコロナショックも経て、
市民が立ち寄る場所から、通り過ぎる場所へと変わりつつある福島駅前。

いまその求心力低下は大きな課題となって、わたしたちに問いを投げかけています。

「再開発施設をどのような存在として定義するのか？」

そして、

「どのようなシーンを生み出す場所とするのか？」

コンセプトにかける“想い”

いま一度、わたしたちの福島を見渡してみましよう。

まちとしての課題はある一方で、まだまだ知られていない、全国に誇れる《にぎわい》《文化》《つながり》の可能性が数多く存在しています。

たとえば「食」。

円盤餃子、フルーツ、地酒、ラーメン、いかにんじん、福島牛、地鶏、ソースカツ丼、など…

単にこれらが特産品というだけでなく、まちなかを歩けば、

長年福島の食文化を発信し続ける、ハイレベルな飲食店が思わぬところに点在しています。

コロナ禍を超え、古いビルをリノベして新規開業、老若男女問わず、にぎわう飲食店もたくさんあります。

あるいは「イベント」。

駅前通り、駅前広場、まちなか広場等が連続し、日常的に市民に開かれた

パブリックスペースが形成されていることは、福島駅前にとって価値のある特長です。

これまで通りを歩行者天国にして催されてきたイベントやお祭りの数々も、さらなる可能性を秘めていると考えます。

コンセプトにかける“想い”

わたしたちは、再開発施設を

「あらゆる《にぎわい》《文化》《つながり》の可能性が集結し、
福島への愛着と情熱が交差する、まちのシンボルにしたい」と思います。

そしてここを、

「新たな《にぎわい》が生まれ、《文化》が生まれ、《つながり》が生まれる。

そんなわくわくする未来が広がる場所にしたい」

そう考えました。

単なる箱物ではなく、ここを訪れる多彩なひとびと、
そして何より市民のみなさまの、愛着と情熱があふれる場となるために。

復興を超え、新たな福島の象徴となるために。

コンセプト、ひいてはこのまちにかける

わたしたちの“想い”です。

コンセプト案

にぎわい・文化・つながりが
生まれる 《たまご》

= FUKUSHIMA EGG =

わくわくする未来を、つぎつぎと。

市内外の多彩なひとびとが、集まり、混ざり、触発しあい、

にぎわい・文化・つながりを生みだしていく。

豊かなたまごが、ここ福島駅前に誕生します。

にぎわい・文化・つながりが、つぎつぎと生まれる場。

- ・用がなくても立寄りたくなる
- ・集客力の高い催しが開催できる
- ・施設に閉じずまちに開けている

にぎわい

文化

- ・産学民が使いやすい
- ・多彩な目的に使える
- ・演出の自由度が高い

FUKUSHIMA EGG

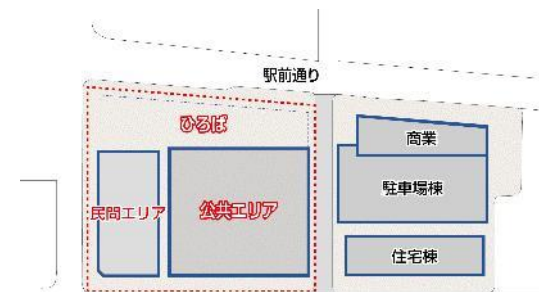
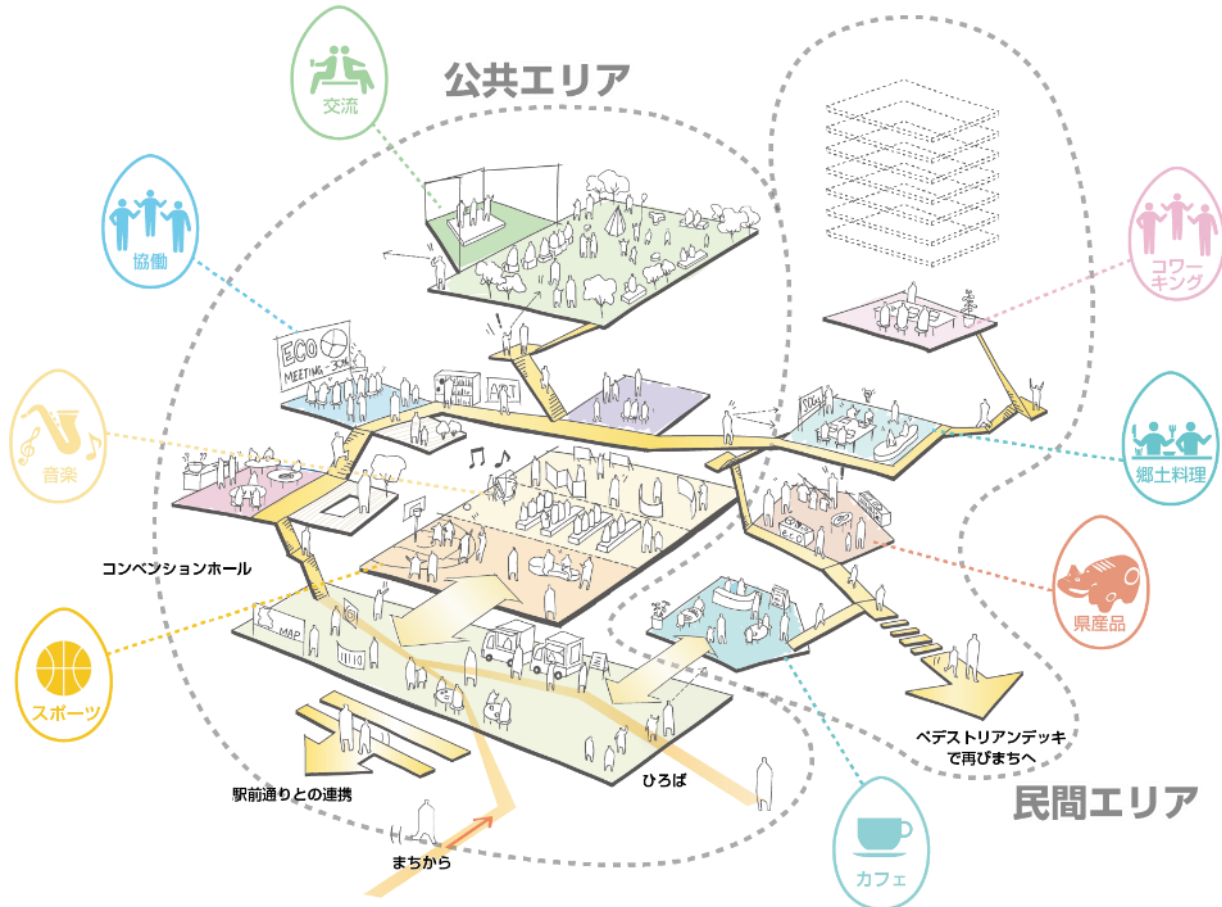
つながり

- ・交流を生む環境がある
- ・市外からも人が集まる
- ・福島産品をはじめとして、多彩なものと接する

コンセプト案に沿った、 この場所を実現していきたいシーン

この場で、具体的に
どのようなシーンが生まれるか。

施設全体から、にぎわい・文化・つながりが生まれる



《参考》全体配棟図

※本イメージ図の内容は、今後の検討によって変更になる可能性があります。

シーン1 音楽に高揚する

にぎわい

文化

つながり

- ロック、ポップスなど音楽ライブの開催。
- ひろば側の建具を大きく開けることで、広場や駅前通りにもイベントがにじみだし、まちのにぎわいを。

公共

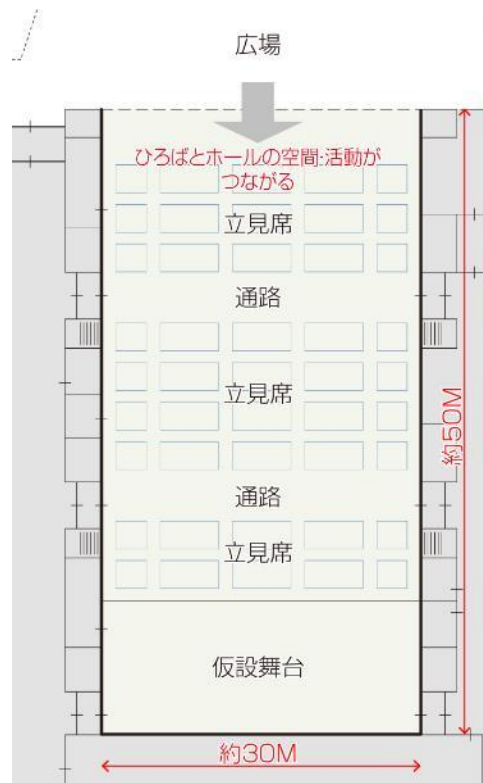
民間



ライブ



ホールと広場につながる



平面イメージ

シーン2 コアなファンが集う

にぎわい

文化

つながり

公共

民間

- ・ アイドル、コスプレ、eスポーツなど、熱狂的なファンが集う様々なイベント。
- ・ 映像、音響、照明設備等、最新の演出技法により、新しい文化創造に寄与。



アイドルイベント



コスプレイベント



eスポーツ



映像や照明設備を使った演出



シーン3 スポーツで盛り上がる

にぎわい

文化

つながり

- バスケット、クライミング、ヨガ、ダンスなど、様々な屋内スポーツイベントに対応。
- ホールとひろばの一体利用により、市民が気軽に参加しやすい環境を創り出す。

公共

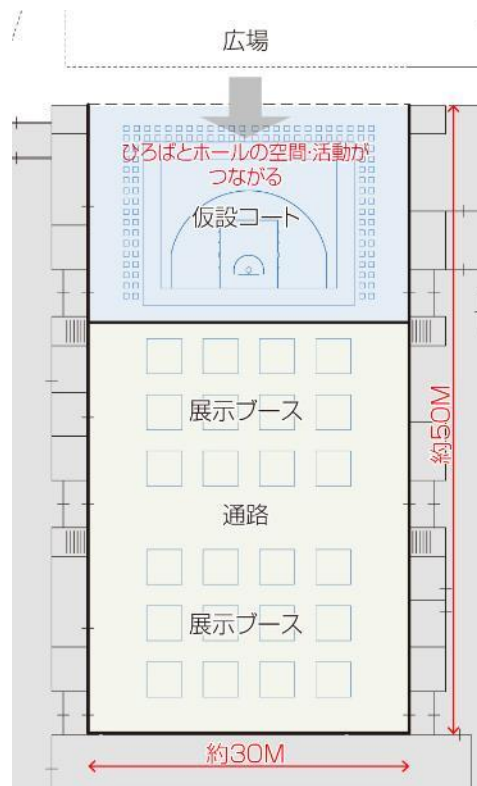
民間



バスケット (3on3)



クライミング



平面イメージ

シーン4 ふくしまの食にワイガヤする

にぎわい

文化

つながり

公共

民間

- レストランフロアでもなく、カジュアルなフードコートでもなく、福島の美味しい食文化と、美味しいお酒とを気軽にワイワイ楽しめる新しいタイプの横丁型フードホール。
- グループでも一人でも、市民でも県外からの出張族でも、昼夜問わず気軽に入れて居心地の良い環境を創出。店と客、客同士の距離感が近い環境が交流・にぎわいを生みだす。



フードホールのイメージ

※上記はあくまでイメージのため、実際の計画内容とは異なります。12

シーン5-1 文化パフォーマンスに酔う

にぎわい

文化

つながり

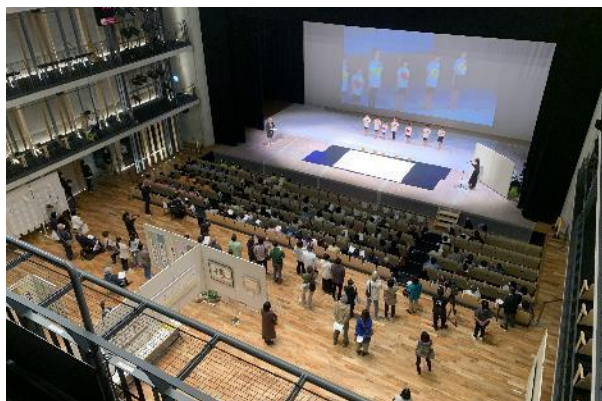
公共

民間

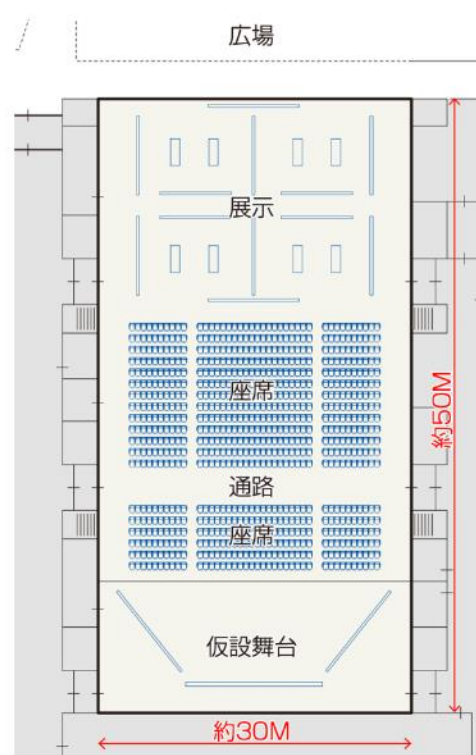
- 絵画、書道、華道、写真など、さまざまな文化展示はもちろんのこと、自由度の高いホールだからこそ、「最新の映像技術」「展示+パフォーマンスの一体利用」など、各種インスタレーション（空間アート）も可能。



インタレーション



書道展（手前）+書道パフォーマンス（奥）の一体利用



平面イメージ

※上記はあくまでイメージのため、実際の計画内容とは異なります。13

シーン5-2 最新の技術や製品に触れる

にぎわい

文化

つながり

- ・ 耐久性の高い床仕上とすることで、EV（電気自動車）などの大型展示も可能。

公共

民間



ホール内でのEVや絵画の展示

シーン6 新しい文化芸術を知る

にぎわい

文化

つながり

- 仮設舞台構築や持ち込み設備により、簡易な演劇利用にも対応。プロジェクションマッピングやバルコニー席活用など、このホールならではの演出が可能。
- 可動席を導入することで、演劇規模や、鑑賞スタイルにフレキシブルに対応。

公共

民間



プロジェクションマッピングによる演出



バルコニー席を使った演出



多角的な映像投影



可動席により、鑑賞しやすい環境を創出

※上記はあくまでイメージのため、実際の計画内容とは異なります。

シーン7

ふくしまや日本・世界の名産に出会う

にぎわい

文化

つながり

公共

民間

- ・百貨店での人気コンテンツでもある物産展もこの場所で。
- ・福島自慢の産品を集めたイベントはもちろん、北海道展など日本各地の名産品や、《手工芸》《多文化交流》《オーガニック》などテーマを絞った物産展・イベントも。



物産展（公共エリア）イメージ



福島自慢の県産品と物産館（民間エリア）イメージ

シーン 8-1 多様なネットワークが生まれ、深まる

にぎわい

文化

つながり

- ・ 大規模な学会から市民利用まで、ホールの分割利用により様々な規模の会議利用に対応可能。
- ・ 立食パーティーで、さらにつながりが深まる。

公共

民間



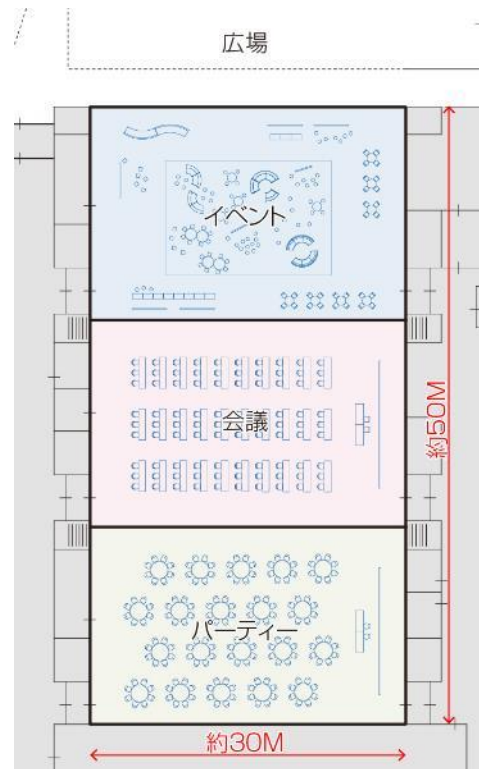
壁一面の大型スクリーンを使ったシンポジウム



立食パーティー



配信スタジオ



平面イメージ

シーン 8-2 新しいアイデアがひらめく

にぎわい

文化

つながり

- ・ 企業周年イベント、研修、セミナーなど、企業にとっても利用しやすい環境。

公共

民間



研修・セミナー



企業周年イベント

シーン9-1

ふらっと立ち寄ってのんびりする

にぎわい

文化

つながり

公共

民間

- ・ 駅前通り側に、市民が日常的に利用できる屋内広場（仮称・まちなかりビング）を計画。
- ・ 施設に閉じずにまちとつながるしかけや、座って長く過ごせる居場所化の工夫を凝らす。市民の第2のリビングとして、家族や友人との団欒、イベント利用、学生の学習場所などの日常利用を促進し、多様なつながりを生み出す。



まちに開かれた子供向けイベント



自由に使える学習スペース



祭作品の展示



スキップフロアにより
多機能と緩やかにつながる



大階段によりイベントにも対応可能



ガラスの設えにより、
まちなかのショーケースとなる
※上記はあくまでイメージのため、実際の計画内容とは異なります。 19

シーン9-2 開放的な空間で憩う

にぎわい

文化

つながり

公共

民間

- ・ 大屋根ひろば、屋上ひろばなど、施設内に複数のひろば空間を計画。
- ・ 市民の憩いの場として日常利用できるだけでなく、ホール等と有機的に連携。



大屋根広場、屋上広場のイメージ

※上記はあくまでイメージのため、実際の計画内容とは異なります。

シーン 10 我が家のリビングのようにつろぐ

にぎわい

文化

つながり

公共

民間

- ひろばに面し、開放感のあるオープンテラスを設置したカフェ。
- 気軽に立ち寄り、心地よく過ごせる、福島駅前の散策の拠点。



居心地の良いカフェのイメージ

シーン 11 異なる価値観が交差する

にぎわい

文化

つながり

公共

民間

- ・ オフィスフロアには、一般的なオフィスに加え、福島未来を創る起業家を中心に産官学をつなぐインキュベーション施設を検討。起業家たちの熱意とアイデアが交錯する、未来のビジネスが孵化する場所を目指す。
- ・ 空間のシェアや可視化により、ワーカー同士のつながりを自然と生み出す。



インキュベーションオフィスのイメージ

シーン12 同時に多様なシーンが生まれる

にぎわい

文化

つながり

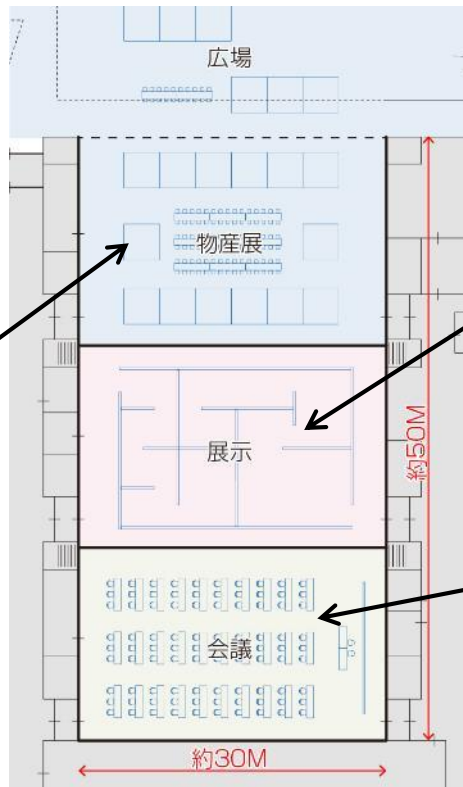
公共

民間

- 可動間仕切りにより、様々なイベントを同時に開催可能。
- 異なるイベントの参加者が偶発的に出会い、新たなにぎわいが生まれる。



物産展



平面イメージ



展示



会議

シーン実現のための仕掛け

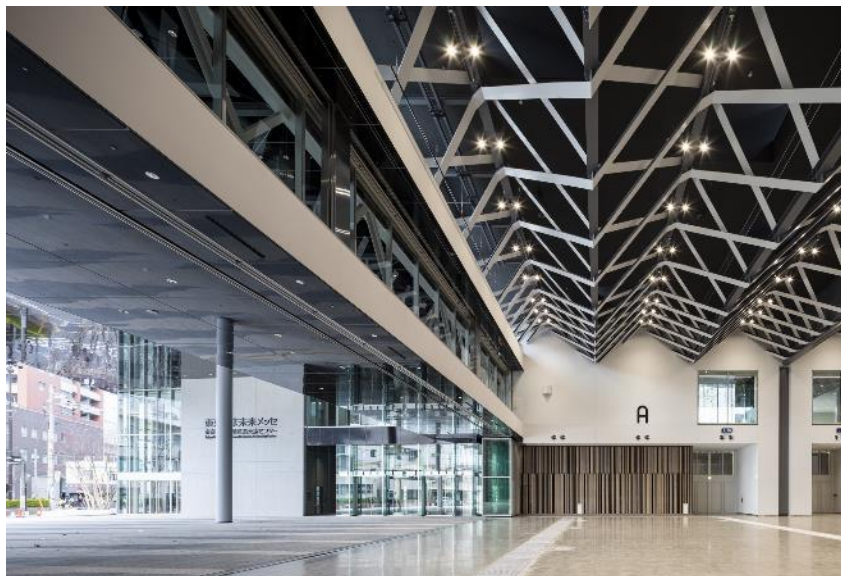
にぎわい・文化・つながりを生み出すための
建築面、設備面での工夫。

シーン実現のための仕掛け - 1

可動建具

【可動建具】

- ホールと広場の間仕切りを可動式にすることで、ホール⇄広場⇄まちの連続性を高める。
- ホール内での盛り上がりがまちに伝播したり、逆にまちの賑わいをうけてホール内に引き込んだり。



水平折れ戸の事例-1



水平折れ戸の事例-2

シーン実現のための仕掛け - 2 移動観覧席

【移動観覧席】

- 壁面に収納・展開可能な移動観覧席を設けることで、会議利用からイベント対応まで幅広い利用を可能とする。
- 演劇やコンサートなどでは、固定ステージに捉われず、新しい演出も可能。



移動観覧席の参考イメージ1（壁面収納時）



移動観覧席の参考イメージ2（展開時）



移動観覧席の参考イメージ3
（展開＋スタッキングチェア）

シーン実現のための仕掛け - 3

バルコニー席・演出用バトン

【バルコニー席＋演出用バトン】

- ・ ホール2階席の一部にバルコニー席や演出用バトンを設けることで、イベント時の観覧席利用だけでなく演出の幅を広げる。



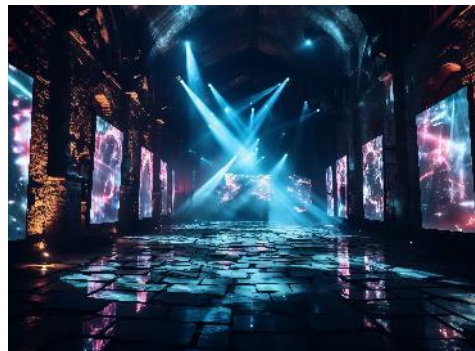
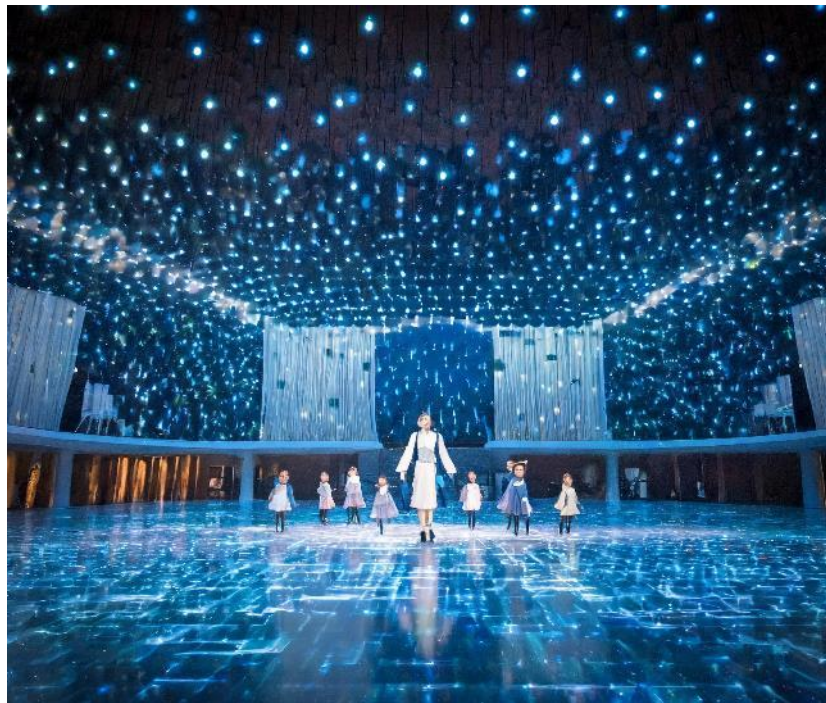
バルコニー席＋演出用バトンの参考イメージ

シーン実現のための仕掛け - 4

プロジェクション設備

【プロジェクションマッピング】

- プロジェクションマッピングが可能な映像設備の設置を検討。
- 箱型のホールだからこそ壁面をスクリーンに、ダイナミックな演出が可能になる。



プロジェクションマッピングのイメージ

シーン実現のための仕掛け - 5

ZEB (省エネ)

【ZEB Ready (省エネ)】

- にぎやかなイベントを創る一方で、よりサステナブルな施設とするために、ZEB Ready (エネルギー消費量が一般的な建物の50%以下) 以上の省エネ水準を目指します。
- ゼロカーボンシティを目指す福島市の脱炭素化のシンボルとなる。



サステナブルな施設のイメージ

ここから生まれる新しいまちの風景

にぎわい×文化×つながり を生み出す「たまご」



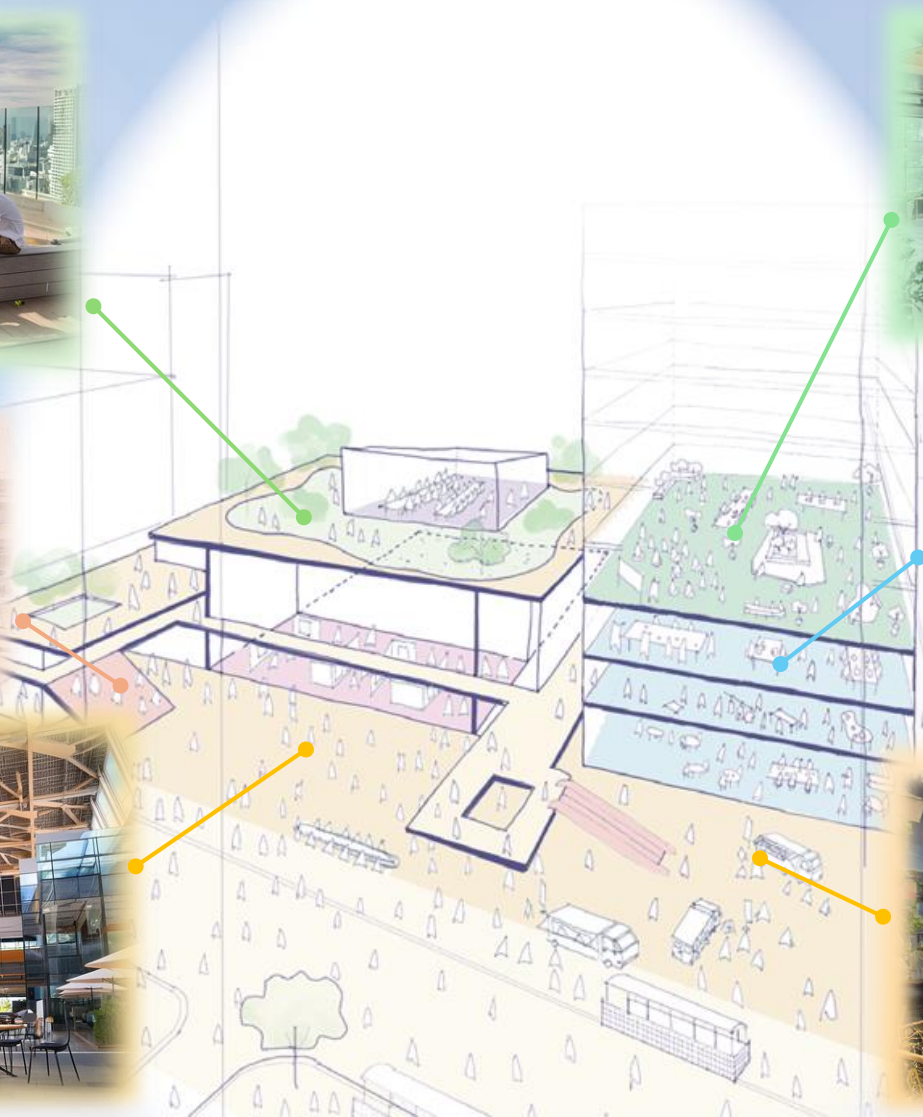
屋上ひろば



大階段



大屋根広場



シェアオフィス



フードホール



大屋根広場

にぎわい×文化×つながり を生み出す「たまご」



スタジオ・会議



シェアオフィス（異業種交流）



大階段（イベント）



ホール（学会）



ホール+大屋根広場（ライブ）



大屋根広場+駅前通り（イベント）



ホール（展示イベント）